



## さいたま市シニアユニバーシティー岩槻校第9期校友会会報第1号

会長挨拶 『ありがとう』 皆さん

会長 瀧田 和雄

哲学者である小林正観先生が次のように仰っておられます。『現在ある言葉の中で、最高の影響力を持った言葉は「ありがとう」の五文字でしょう。』と。私はもう一度感謝を込めて申し上げます。「ありがとう」と。私ごときが会長職を仰せつかり、おかげさまで皆様のご協力のもと無事職務を全うすることが出来ました。毎回の例会には本当に大勢の皆さんが参加して頂けました。きっと岩槻協議会の中でも抜群の出席率のはずです。こんなにうれしいことはありません。

今年度も会員の皆さんが「参加してよかった・楽しいひと時だった」と感じて帰途につけるような楽しい企画を考えてプログラムを作成しました。毎月の例会以外に「オープン参加」と名付けた企画を考えまして、手始めに6月に能・狂言鑑賞講座を企画しました。多くの皆様に参加できるような企画のご提案を是非お寄せくださいますようお願いいたします。ボウリング大会・有名店でのランチタイム・美術館巡りなどご提案してゆきたいと考えております。

昨年度に「老いを楽しむ言葉」をお届けしてまいりましたが、今年も「心に残る名言」というテーマでいろいろな角度から先人の素晴らしい人生感をご一緒に学んでまいりたいと考えておりますのでどうか目にしていただければ幸甚です。

今年も皆さんのご協力で楽しい、有意義で参加してよかったといえるプログラムを共有したいと思っております。どうかこの一年、よろしく願い申し上げます。

### 9期交友会定期総会開催

平成31年度我が9期定期総会が4月16日「ほてい家」にて開催された。前沢副会長の司会で式次第通り議長選出に始まり、7号議案まで報告・審議された。

30年年度予算厳しい中、充実した事業が展開され、各行事とも多くの会員が参加して頂いたことは執行部として嬉しい喜びであった。3号議案の31年度校友会役員人事案が審議された。昨年度同様全員が留任ということで、人事の刷新が期待されたが引き続き同じ体制で責任を担うこととなった。31年度の行事予定では瀧田会長より本来の全体集会に加え、オープン参加として史跡めぐりクラブの行事と重ならない月に自由参加で各種行事を計画してゆくことが発表された。

31年度の予算は極めて厳しい状況であるが、出来るだけ県の出前講座などを活用して内容ある集会を実行してゆく予定が検討承認され、今年度は会員45名でスタートすることとなった。

総会終了後の懇親会ではアトラクションとして浪江総務の企画で会員の若き写真を映像で映し「私は誰でしょう」というクイズがあり、大変身する人もあればそれなりに面影があったり殆どの人不正解でやっと二人位正解した人がほとんどで、この企画は大成功であった。正解者にはたくさん賞品が贈られ無事閉会となった。



## 平成 30 年度日帰り親睦旅行

### 房総方面 濃溝の滝&大山千枚田&大福寺（崖の観音）参拝

3月1日（金）岩槻駅西口駅前広場を、バス4台で午前7時15分出発、岩槻ICから東北道・外環道・首都高を経て「海ほたるPA」にて休憩、君津ICから一般道へ、雨上がりの畑に、菜の花が咲いていました、黄色が鮮やかに目にまぶしいくらいでした。沿道で河津桜と思われる桜が咲いていた。

「濃溝の滝」は、江戸時代に掘られた人工の洞窟にできた滝のことを、地元の方は「亀岩の洞窟」と呼んでいるそうです。11時に到着。早速、滝の見学に、天候と時間によってインスタ映えするとインターネットなどで報じられている風景は望めなかったが、蛍の養殖場とかの通路があり散策した。

「大山千枚田」（日本の棚田百選）には、12時過ぎに到着、記念撮影を各号車ごとに、棚田は、急傾斜地に階段状に連なる大小375枚の田んぼ、水の張られた棚田を眺めたあと、昼食会場へ、漁師料理「たてやま」で食事と買い物を終わり、「大福寺」に2時30分に到着、境内の船形山の中腹に舞台造りの朱塗りの観音堂が建っている、崖の観音と云われるように急な階段を上り参拝する。眼下には館山湾が広がる絶景の風景を堪能。その後、「道の駅おおつの里花倶楽部」へ15分ほど花を観賞、これより海ほたるPA経由岩槻ICから岩槻駅西口駅前午後7時無事到着。

12期実行委員会の皆様、大変お世話になりました有難うございました。



## AKT バンドコンサート

6月18日（火）ワッツ5階ミニホールにて、昨年に引き続き岩槻区小溝地区で活躍中のAKTバンドコンサートが開催された。

MC担当の高橋さんの引退で、鈴木さんがMC担当となり、新たなメンバーとして、小島さんが紹介されました。

早速、AKTバンドのメンバーによる、バンド演奏と弾き語りでの自己紹介、そして、昨年のリクエスト曲「時代おくれ」を聴き休憩、休憩後は、出席者全員で、歌詞を見ながら、懐かしい歌を合唱しました。



## 深大寺・神代植物公園と大国魂神社散策

史跡めぐりクラブ Eグループ  
平成31年4月12日(金)

天気予報では、雨模様とのことでしたが、心がけが良かったのか散策日和となりました。

交通機関の乱れがありましたが、ほぼ、予定どおり目的地に到着、早速ボランティアガイドによる植物園内の案内となりました。大温室にて熱帯植物や洋ラン・スイレンを観察、つぎに桜の観賞となり神代桜を筆頭に数多くの桜を観賞した。昼は名物の深大寺そばをいただきました。

食後、深大寺にガイドによる案内で参拝、記念撮影を撮り、バスにて大国魂神社へ、拝礼を済ませて終了。帰路は武蔵野線府中本町駅より武蔵浦和駅経由で大宮駅に定刻に到着、解散となりました。



## 『人形の博物館』(東玉)見学 と クラブ年度総会

平成31年3月28日(木)

平成30年度の史跡めぐりクラブ行事は6回、今回が最終行事となりました。

午後からクラブの総会を行う関係で、総会会場の近場 岩槻駅前の「人形の博物館」見学を計画、10:40にワッツ西館入口部に18名が集合し、東玉ビル4階会場へ移動。

「人形の博物館」では平成27年度の9期全体集会(五節句の講義)でお世話になりました 東玉の大嶋講師(博物館館長)に館内の案内・説明をして頂きました。

館内の人形を主体にした展示物を前にして、あらためて五節句……人日(1月7日) 上巳(3月3日) 端午(5月5日) 七夕(7月7日) 重陽(9月9日) それぞれの節供食文化や行事について聞きやすい口調と手ぶり身振りで丁寧に説明を頂きました。

### クラブ年度総会

クラブ年度総会は割烹「ふな又」にて開催しました。

増山部長挨拶で始まり、坂本企画担当より、平成30年度活動報告及び収支決算報告があり承認されました。特に新たに始めた各行事(6回)の担当・実行制については、担当メンバーが企画・実施・案内に携わりその楽しさを実感、充実した年でありました。

平成31年度活動計画(案)についても、平成30年度と同様各行事の担当制で活動、行事内容等の変更についてはその都度調整することで終了しました。

新年度役員は増山部長を中心に継続、但し会計担当は中島さん⇒増田さんとなります(中島会計ご苦労様でした)、今年度のクラブ会員数は23名でスタートします。

集合、朝の挨拶



講師 大嶋講師



クラブ総会風景



## 第7回「さいたまマーチ」～見沼たんぼ

平成31年3月30日（土）



校友会連合会では、330人を超える会員の参加がありました。岩槻9期校友会員は、本年はたった2名の参加でとてもさみしく感じた。幸いに曇天で、ウォーキングには絶好の日和となりました。日本一の桜回廊と云われる一部、見沼たんぼ南ルートのコースに参加しました。スタート地点は、「さいたま新都心公園」でチェックを受けスタート、新都心官庁街を通り街中を過ぎ見沼代用水西縁に、満開に近い桜に出合い元気が出て来ました。桜並木を散策しながら山中橋を渡り、『さくら草特別支援学校』を経て、見沼臨時グラウンドに設けたチェックポイントでチェックを受け、昼食休憩、連合会計画で『しらこぼと音楽団』の伴奏による懐かしの歌を合唱。休憩後、芝川沿いにスタート地点へ、10kmを完歩し、チェックを受け完歩証を受領しました。



## 自主講座「吹き矢」教室 於：東岩槻ふれあいプラザ

平成31年3月12日

平成28年8月にはじめての「吹き矢」の体験教室があり、その流れから3班の石塚さんの協力により、今回も「岩槻吹き矢連盟」の先生方の指導のもと、大変楽しく体験することが出来た。

今回は第2回目ということで写真にもあるように、浪江会員が抜群に成績で見事最高位に輝いた。女性では渋谷会員や蔵部会員などが見事な腕前を披露してくれていた。石塚会員からは沢山の手作りのストラップを提供して頂き全員がお土産に頂くことができた。



## 能・狂言鑑賞教室に参加して

6月24日オープン参加行事として14名で国立能楽堂にて日本の伝統文化を鑑賞した。さいたま市の大宮氷川神社では毎年薪能が奉納されるが、中々鑑賞する機会がないため今回の企画となった。今回は狂言が文山立と能が船弁慶であった。共にそれぞれの分野では誰しもが一度は鑑賞する人気の出し物であったのでそれなりに堪能することができた。今後もこうした企画を提供してゆきたい。

